

支那だより



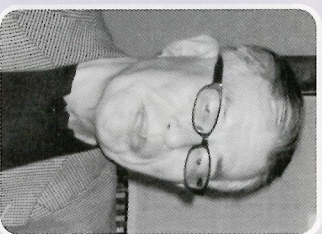
五

No.48
平成22年9月1日

各務原市社会福祉協議会
蘇原北部支部

社会福祉協議会蘇原北部
支部の活動に対し日頃から
格段のご配慮をたまわりま
すこと、厚くお礼申し上げ
ます。

当市もじたぶんにめれます、
市民の方々の高齢化が一段
と進みつつあります。最近
思いますことは、今何かが
起きたらどうすれば良いか
ということです。近所付合
いが希薄になっている今日
でも、一番の力は昔から言
われている、『向こう三軒
両隣り』と言う事を考え直
して見る事ではないでしょ
うか。何時起きるか分から
ない災害等が起きた時、や
がては、公的な援助はある
でしょうが、それよりも今
起った事に対し、少しでも



早く手をさしのべることで、
は、ないでしようか。そんな時の頼みは、やはり、『向こう二軒両隣り』です。この力が、一番必要だと思ひます。災害が起つた時、被害に合つたお宅にも、当然被害があるものと想定されますが、そんな状況にも係わらず助け合いが出来るのは、地域の方々の力です。社会福祉協議会は、市から委託を受け種々の業務を行つており、自治会としても、十分ではありませんが、その一翼を荷つております。これから益々、高齢化が進み、地域の力が重要となつてまいります。出来る事は、自分達の方でやらねばなりません。これから、皆様方のご理解とご支援をいただき、社会福祉協議会蘇原支部支部が更に地元根付いた活動が出来ますよう、ご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

高齢化社会を迎えて

社協蘇原北部支部副支部長・蘇原北自治会連合会長

しあわせ家族に乾杯！

持田町 小川 進様 ご家族

90歳の千枝ばあちゃんを中心に、それぞれの立場で頑張っておられる小川さんご一家、近々誕生のお子様を心待ちにしながら健康で明るく暮らす家族です。



大島町 藤井 薫 様 ご家族
幸せ一杯の笑顔でしょ！ 草花大好き！
明るく楽しい家族です。



第8回民生児童委員



六月の定例会終了後、障がい福祉部会による体験学習を実施しました。各務原市の社会福祉協議会より道具を借用し説明を受けました。高齢とともに視力が低下し、耳が遠くなり、手足の動作が緩慢になります。障がい者の方は想像する以上に大変であることが疑似体験道具を使って初めて理解できました。車椅子の基本的な扱い

障害疑似体験

~にまで細かく区別し、栽培の仕方まで
品種大辞典

田舎の生活・農村生活

方、介助する立場、介助される立場、道路の段差、砂利道、階段等の通行も体験しました。この体験学習を受けたことにより、今後、色々な場合の介助に活かされると思います。



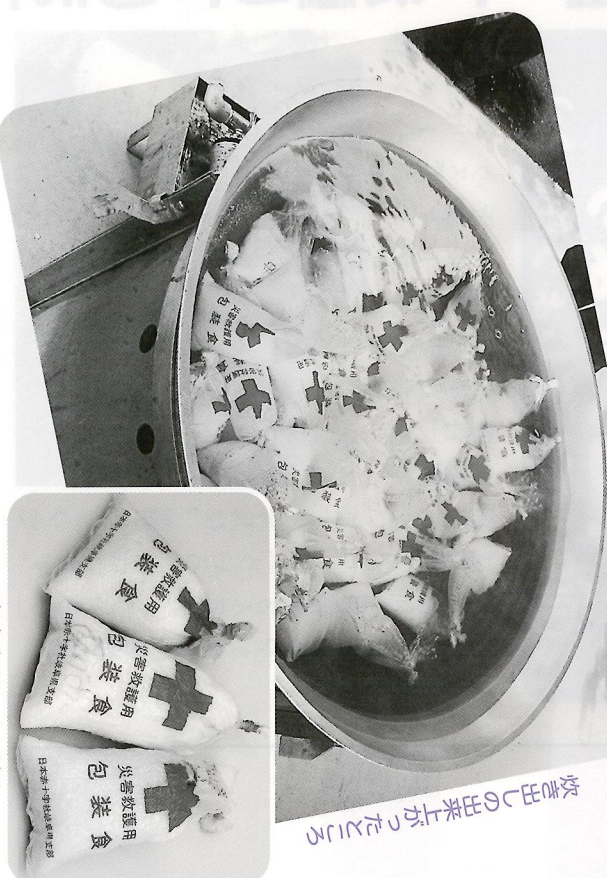
炊き出し訓練



各務原市総務課防災係の指導により、災害時の多量炊飯の体験をしました。特殊な耐熱ビニール袋に無洗米あるいは研いだお米と薄い塩水をいれて空気を抜き輪ゴムで止めて、沸騰しただお湯の中で約三〇分煮ると出来上がります。

今後も多くの方が機会ある毎に訓練に参加し、また毎年開催される各務原市の防災訓練にも参加することにより、いざ、災害が発生した時、即刻対処できるのではないかと思います。

炊き上がる間、十五年前に発生した阪神淡路大震災の経験の中で学んだ事柄（家具の転倒防止、火の始末、電気系統の措置、避難に必要な物）のヒナオも見ました。



出来上がったご飯

民生救濟制度創設90周年記念事業

災害時一人も見逃さない運動
展開中!!

(実施期間：平成22年11月末日まで)

日頃から
隣近所の声掛けにより
地域の連携が生まれる

被災時の要援護者マップを作成する



